

表 5-5-24. 通所サービス利用者の利用頻度(高齢者回答) (n = 87)

1週間あたりの回数	%
1回以下	43.6
2回	35.6
3回	11.5
4回	4.6
5回	1.1
無回答	3.4

注) 現在、通所サービスを利用している人に限定。

表 5-5-25. 通所サービス利用者の満足度(高齢者回答) (%) (n = 87)

	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	わからない	無回答
施設でのお世話の内容	44.8	42.5	6.9	0.0	4.6	1.1
回数	27.6	49.4	10.3	1.1	9.2	2.3
費用負担	13.8	37.9	8.0	1.1	37.9	1.1
施設職員の対応	56.3	34.5	3.4	0.0	4.6	1.1
施設までの送迎	55.2	34.5	1.1	0.0	8.0	1.1
全体的	42.5	47.1	4.6	0.0	4.6	1.1

注) 現在、通所サービスを利用している人に限定。

表 5-5-26. 通所サービス利用者の利用希望回数(高齢者回答) (n = 87)

1週間あたりの回数	%
1回	18.4
2~3回	59.8
4~5回	5.7
6回以上	3.5
無回答	12.6

注) 現在、通所サービスを利用している人に限定。

通所サービスを利用したことがない人に利用意向をたずねたところ、「ぜひ利用したい」「利用を検討したい」という利用意向がある人は12.9%であった。「利用をまったく考えていない」「なるべく利用したくない」「現在は利用する必要がない」といった利用意向がない人の割合は84.8%であった(表5-5-27)。

利用意向がある人に利用希望回数を質問した結果、「週に1回」が48.5%、「週に2~3回」が39.4%であった(表5-5-28)。

表 5-5-27. 通所サービス非利用者の利用意向(高齢者回答) (n = 256)

	％
ぜひ利用したい	3.5
利用を検討したい	9.4
なるべく利用したくない	16.0
利用はまったく考えていない	34.0
現在は利用する必要がない	34.8
無回答	2.3

注) 現在、通所サービスを利用していない人に限定。

表 5-5-28. 通所サービス非利用者の利用希望回数(高齢者回答) (n = 33)

1週間あたりの回数	％
1回	48.5
2～3回	39.4
4～5回	3.0
6回以上	9.1

注) 通所サービスを利用していない人の中で利用を希望している人に限定。

(5) 訪問看護サービス

訪問看護サービスの利用・認知状況については、「現在利用している」が12.5%、「知っていたが、利用したことがない」が49.4%、「知らなかった」が35.5%であった(表 5-5-29)。

「利用している」と回答した人に対して、複数のサービス提供事業者から選択が可能であったか否かをたずねたところ、「2つ以上の事業者から選ぶことができた」という人は16.3%であった。「そもそも2つ以上の事業者から選ぶことは考えていなかった」「わからない」との回答は76.8%であった(表 5-5-30)。

利用頻度を質問した結果、「月に1回」という人が11.6%、「月に2回」が20.9%、「月に3回」が0.0%、「月に4回」が53.5%であった(表 5-5-31)。

表 5-5-29. 訪問看護サービスの利用・認知状況(高齢者回答) (n = 344)

	％
現在利用している	12.5
かつて利用したことがある	2.3
知っていたが、利用したことはない	49.4
知らなかった	35.5
無回答	0.3

表 5-5-30. 訪問看護サービスの選択の多様化(高齢者回答) (n = 43)

	%
2つ以上の事業者から選べた	16.3
2つ以上の事業者から選びたかったが、 選ぶことができなかった	2.3
そもそも2つ以上の事業者から選ぶこと は考えていなかった	41.9
わからない	34.9
無回答	4.7

注) 現在、訪問看護サービスを利用している人に限定。

表 5-5-31. 訪問看護サービス利用者の利用頻度(高齢者回答) (n = 43)

1ヶ月あたりの回数	%
1回	11.6
2回	20.9
3回	0.0
4回	53.5
8回	9.3
無回答	4.7

注) 現在、訪問看護サービスを利用している者のみ回答。

訪問介護サービスを利用中の人に満足度をたずねた。全体的な評価については、「非常に満足」「やや満足」という回答が97.7%を占めていた。項目別にみると、「非常に満足」「やや満足」という回答の合計が最も低かったのは「費用負担」(67.5%)で、次に低かったのが「申し込み手続き」(69.7%)であった。その他の項目については、「非常に満足」「やや満足」という回答の合計は、すべて90%以上であった(表5-5-32)。

利用中の人に利用希望回数をたずねたところ、「月に4回」との回答が48.8%と、最も希望が多かった(表5-5-33)。訪問看護サービスを利用中の人については、利用希望と実際の利用頻度との乖離はそれほど大きくなかった。

表 5-5-32. 訪問看護サービス利用者の満足度(高齢者回答)

(n = 43)

	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	わからない
看護婦との人間関係	44.2	51.2	2.3	0.0	2.3
看護の内容	37.2	55.8	4.7	0.0	2.3
派遣の回数	41.9	51.2	2.3	0.0	4.7
費用負担	25.6	41.9	4.7	7.0	20.9
派遣の時間帯	37.2	60.5	0.0	0.0	2.3
申込手続き	20.9	48.8	4.7	0.0	25.6
全体的	37.2	60.5	0.0	0.0	2.3

注) 現在、訪問看護サービスを利用している人に限定。

表 5-5-33. 訪問看護サービス利用者の利用希望(高齢者回答) (n = 43)

1ヶ月あたりの回数	%
0回	4.7
1回	7.0
2回	14.0
3回	2.3
4回	48.8
8回	9.3
12回	2.3
何回でも	2.3
無回答	9.3

注) 現在、訪問看護サービスを利用している人に限定。

訪問看護サービスを利用したことがない人に利用意向をたずねたところ、「ぜひ利用したい」「利用を検討したい」という利用意向がある人は8.0%であった。「利用をまったく考えていない」「なるべく利用したくない」「現在は利用する必要がない」といった利用意向がない人の割合は、89.6%であった(表 5-5-34)。

利用意向のある人に利用希望回数を質問した結果、「月に1回」が16.7%、「月に2回」が25.0%、「月に3回」が0.0%、「月に4回」が37.5%であり、週1回程度のサービス提供を望む声が強かった(表 5-5-35)。

表 5-5-34. 訪問看護サービス非利用者の利用意向(高齢者回答) (n = 300)

	%
ぜひ利用したい	1.7
利用を検討したい	6.3
なるべく利用したくない	11.3
利用はまったく考えていない	29.3
現在は利用する必要がない	49.0
無回答	2.3

注) 現在、訪問看護サービスを利用していない人に限定。

表 5-5-35. 訪問看護サービス非利用者の利用希望(高齢者回答) (n = 24)

1ヶ月あたりの回数	%
1回	16.7
2回	25.0
3回	0.0
4回	37.5
5回	4.2
8回	8.3
何回でも	4.2
無回答	4.2

注) 訪問看護サービスを利用していない人の中で、利用を希望している人に限定。

(6) その他の在宅サービス

「機能訓練・介護予防事業」「訪問リハビリテーション」について、利用状況と利用意向をたずねた。

「機能訓練・介護予防事業」については、「現在利用している、または1年以内に利用したことがある」との回答が6.4%、「知っているが、この1年は利用したことがない」が43.0%、「知らない」が50.6%であった(表 5-5-36)。利用していない人に利用意向をたずねたところ、「利用したい」が14.3%、「利用したくない/できない/必要ない」が56.5%であった(表 5-5-37)。

「訪問リハビリテーション」については、「現在利用している、または1年以内に利用したことがある」との回答が6.4%、「知っているが、この1年は利用したことがない」が32.3%、「知らない」が61.3%であった(表 5-5-38)。利用していない人に利用意向をたずねたところ、「利用したい」が14.9%、「利用したくない/できない/必要ない」が57.5%であった(表 5-5-39)。

表 5-5-36. 機能訓練・介護予防事業の利用(高齢者回答) (n = 344)

	%
現在利用、または1年以内に利用	6.4
知っているが、この1年は利用していない	43.0
知らない	50.6

表 5-5-37. 機能訓練・介護予防事業の非利用者の利用意向(高齢者回答) (n = 322)

	%
利用したい	14.3
利用したくない／できない／必要ない	56.5
わからない	27.3
無回答	1.9

注) この1年以内に機能訓練・介護予防事業を利用したことがない人に限定。

表 5-5-38. 訪問リハビリテーションの利用(高齢者回答) (n = 344)

	%
現在利用、または1年以内に利用	6.4
知っているが、この1年は利用していない	32.3
知らない	61.3

表 5-5-39. 訪問リハビリテーション非利用者の利用意向(高齢者回答) (n = 322)

	%
利用したい	14.9
利用したくない／できない／必要ない	57.5
わからない	26.1
無回答	1.6

注) この1年以内に訪問リハビリテーションを利用したことがない人に限定。

6) 施設サービスに対する在宅要介護高齢者の利用意向

「特別養護老人ホーム」「老人保健施設」「療養型医療施設」の3種類の施設サービスについて、在宅要介護高齢者に利用意向をたずねた。

特別養護老人ホームについては、「なるべくなら入所したくない」という回答が83.4%を占めていた。「現在、入所の申し込みをしている」「今すぐにでも入所を希望する」「入所を検討したいと思う」という入所意向のある高齢者は13.9%であった(表5-6-1)。

老人保健施設、療養型医療施設についても、「なるべくなら入所(入院)したくない」が多くを占めており、その割合は老人保健施設で77.3%、療養型医療施設で84.3%であった(表5-6-2、表5-6-3)。

表 5-6-1. 特別養護老人ホームの利用意向(高齢者回答)(n = 344)

	%
現在、入所の申し込みをしている	1.7
今すぐにでも入所を希望する	0.0
入所を検討したいと思う	12.2
なるべくなら入所したくない	83.4
無回答	2.6

表 5-6-2. 老人保健施設の利用意向(高齢者回答) (n = 344)

	%
現在、利用中である	0.9
すぐにでも入所を希望する	1.5
入所を検討したいと思う	17.2
なるべくなら入所したくない	77.3
無回答	3.2

表 5-6-3. 療養型医療施設の利用意向(高齢者回答) (n = 344)

	%
すぐにでも入院を希望する	0.9
入院を検討したいと思う	11.6
なるべくなら入院したくない	84.3
無回答	3.2

7) サービスに対する不満や要望の処理

「サービスに対して不満や要望があった場合に、どのように処理しているか」とたずねたが、全体の 34.0%がそもそもサービスを利用しておらず、「利用しているが、不満がなかった」という回答も全体の 27.6%を占めていた。サービスを利用し、さらに不満や要望があった場合の対処として最も多かったのは、「誰にも言わなかった (14.0%)」であり、次いで「家族に言った」「事業者の職員などの専門家に直接言った」が多かった (表 5-7-1)。

表 5-7-1. サービスに対する不満や要望の処理(高齢者回答) (複数回答)(n = 344)

	%
家族を通じて、事業者や役所などに言った	4.9
家族に言ったが、あとはわからない	9.6
家族以外の友人・知人に言った	2.0
事業者の職員などの専門家に直接言った	6.7
誰にも言わなかった	14.0
不満がなかった	27.6
利用していない	34.0

この回答分布が、身体・認知機能障害の程度によって、どのように異なるかを調べた。

身体的な障害が重くなるに従って、家族や友人・知人などに訴えるという方法で不満や要望を伝える人の割合が増加し、日常生活動作に障害が「ない」人では、この割合が4.6%であったのに対し、「重度」の人では32.3%と、7倍の値を示した(表5-7-2)。

認知障害との関連はその逆で、障害が軽い方が家族や友人・知人などに訴え、不満や要望を伝える人の割合が高い傾向がみられた(表5-7-3)。

表 5-7-2. サービスに対する不満や要望の処理法と日常生活動作障害 (%) (n = 344)

	家族を通じて 事業者や役所 に言った	家族に言っ たが、後は わからない	家族以外の 友人・知人 に言った	事業者の職 員に直接言 った	誰にも 言わな かった	不満 なし	利用して いない	n
ADL 障害なし	0.0	2.3	0.0	2.3	16.3	20.9	55.8	43
軽度	4.2	9.1	1.2	7.3	10.9	25.5	40.0	165
中度	3.9	14.3	2.6	9.1	15.6	28.6	26.0	77
重度	11.9	10.2	5.1	5.1	18.6	37.3	11.9	59

表 5-7-3. サービスに対する不満や要望の処理法と認知能力障害 (%) (n = 344)

	家族を通じて 事業者や役所 に言った	家族に言っ たが後はわ からない	家族以外の 友人・知人 に言った	事業者の 職員に直 接言った	誰にも 言わな かった	不満な し	利用して いない	n
認知障害なし	5.6	9.6	2.5	8.6	16.7	28.8	28.3	198
軽度痴呆	6.3	3.2	3.2	4.8	11.1	23.8	47.6	63
中等度痴呆	2.9	15.9	0.0	4.3	10.1	27.5	26.3	69
重度痴呆	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	28.6	42.9	14

8) サービス利用料に対する在宅要介護高齢者の負担感

サービス利用料について、「非常に負担である」「多少負担である」と回答した要介護高齢者の割合は12.2%であった(表5-8-1)。

表 5-8-1. サービス利用料に対する負担感(高齢者回答) (n = 344)

	%
非常に負担である	2.9
多少負担である	9.3
あまり負担でない	23.0
全然負担ではない	7.3
払っていない	3.5
サービスを利用していない	35.2
無回答	18.9

所得段階、身体障害、認知障害が、要介護高齢者のサービス利用料に対する負担感に影響を与えているか否かを調べた。所得段階との関連では、第5段階の人では、「非常に負担である」「多少負担である」との回答が20%と、他の所得階層と比べて高い傾向がみられた(表 5-8-2)。身体障害や認知障害との関連では、いずれも障害が重い人ほど無回答の割合が高くなったものの、身体障害が「重度」の人の方が、軽度の人と比べて「非常に負担である」「多少負担である」と答える人が多い傾向がみられた(表 5-8-3、表 5-8-4)。

表 5-8-2. 要介護高齢者のサービス利用料に対する負担感と所得段階 (%) (n = 344)

	非常に負担	多少負担	あまり負担でない	全然負担でない	払っていない	利用していない	無回答	n
第1段階	0.0	6.7	20.0	0.0	13.3	13.3	46.7	15
第2段階	1.5	11.7	24.1	9.5	6.6	31.4	15.3	137
第3段階	5.2	6.1	22.6	6.1	0.9	40.9	18.3	115
第4段階	1.9	7.7	23.1	5.8	0.0	38.5	23.1	52
第5段階	4.0	16.0	20.0	8.0	0.0	36.0	16.0	25

表 5-8-3. 要介護高齢者のサービス利用料に対する負担感と身体障害 (%) (n = 344)

	非常に負担	多少負担	あまり負担でない	全然負担でない	払っていない	利用していない	無回答	n
ADL 障害なし	2.3	4.7	11.6	4.7	4.7	58.1	14.0	43
軽度	3.0	7.3	24.2	8.5	4.2	42.4	10.3	165
中度	2.6	13.0	26.0	7.8	1.3	23.4	26.0	77
重度	3.4	13.6	23.7	5.1	3.4	13.6	37.3	59

表 5-8-4. 要介護高齢者のサービス利用料に対する負担感と認知障害 (%) (n = 344)

	非常に負担	多少負担	あまり負担でない	全然負担でない	払っていない	利用していない	無回答	n
痴呆なし	3.5	12.1	27.8	8.1	3.0	29.3	16.2	198
軽度痴呆	0.0	3.2	22.2	4.8	3.2	47.6	19.0	63
中度痴呆	4.3	8.7	13.0	8.7	5.8	37.7	21.7	69
重度痴呆	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	50.0	42.9	14

6. 家族からみた医療施設と老人保健施設の利用に関連するプロセスの評価

1) 回答者の属性

スクリーニングで把握した要介護高齢者 1,323 人中、訪問面接調査時に要介護高齢者が医療施設や老人保健施設などに入院・入所していた場合は、家族に対してこれらの施設サービスに関する調査を行った。この調査の完了者は 114 人で、「一般病院」が最も多く (37.7%)、次いで「療養型医療施設」(33.3%)、「老人保健施設」(22.8%) という順であった (表 6-1-1)。特別養護老人ホームについては 7 章で詳述するので、この章では「一般病院」「療養型医療施設」「老人保健施設」に限定して述べる。

	合計
一般病院	37.7
療養型医療施設	33.3
老人保健施設	22.8
特別養護老人ホーム	6.2

回答者の属性を施設の種別別に示した。「主介護者」が回答する割合が最も高かったのは老人保健施設で (92.3%) であった (表 6-1-2)。

性別分布については、「男性」が回答する割合は一般病院で高く (30.2%)、老人保健施設で最も低かった (15.4%) (表 6-1-3)。

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
主にしている(いた)人	88.4	86.8	92.3	88.8
手伝っている(いた)人	11.6	13.2	7.7	11.2
n	43	38	26	107

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
男性	30.2	23.7	15.4	24.3
女性	69.8	76.3	84.6	75.7
n	43	38	26	107

年齢階級別分布は、一般病院では「50～70 歳代」の割合が高く、療養型医療施設と老人保健施設では「50～60 歳代」の占める割合が高かった（表 6-1-4）。

要介護高齢者との続柄をみると、一般病院では「配偶者」が回答する割合が最も高いが（34.9%）、療養型医療施設や老人保健施設では「嫁」が回答する割合が最も高かった（31.6%と 42.3%）（表 6-1-5）。

表 6-1-4. 回答者の年齢階級 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
39 歳以下	2.3	2.6	3.8	2.8
40～49 歳	14.0	10.5	15.4	13.1
50～59 歳	23.3	31.6	38.5	29.9
60～69 歳	25.6	39.5	23.1	29.9
70～79 歳	23.3	7.9	11.5	15.0
80 歳以上	11.6	5.3	7.7	8.4
無回答	0.0	2.6	0.0	0.9
N	43	38	26	107

表 6-1-5. 要介護高齢者との続柄 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
配偶者	34.9	18.4	19.2	25.2
息子(配偶者あり)	7.0	13.2	3.8	8.4
息子(配偶者なし)	4.7	5.3	3.8	4.7
娘(配偶者あり)	14.0	23.7	19.2	18.7
娘(配偶者なし)	7.0	5.3	11.5	7.5
嫁	25.6	31.6	42.3	31.8
婿	2.3	0.0	0.0	0.9
孫	2.3	2.6	0.0	1.9
その他の親戚	2.3	0.0	0.0	0.9
n	43	38	26	107

2) 入院・入所者の属性

入院・入所中の要介護高齢者の性別分布は、一般病院では他の施設と比べて男性の割合が高く（30.2%）、老人保健施設では男性の割合が相対的に低かった（19.2%）（表 6-2-1）。

年齢分布は、いずれの施設においても「80 歳以上」の割合が高く、特に療養型医療施設と老人保健施設では、80 歳以上の人占める割合は全体の約 85%にのぼった（表 6-2-2）。

要介護高齢者が入院・入所前に住んでいた住宅は、いずれの施設においても「持ち家(一戸建て)」が約8割を占めていた(表6-2-3)。

入院・入所者の世帯年収については、いずれの施設においても「120～300万円」という人の割合が最も高いが、老人保健施設の入所者が相対的に所得が低く、「120万円未満」という人が26.9%と、約4分の1を占めていた(表6-2-4)。

表6-2-1. 入院・入所者の性別 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
男性	30.2	23.7	19.2	25.2
女性	69.8	76.3	80.8	74.8
n	43	38	26	107

表6-2-2. 入院・入所者の年齢階級 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
65～69歳	9.3	5.3	0.0	5.6
70～74歳	2.3	0.0	11.5	3.7
75～79歳	14.0	7.9	3.8	9.3
80～84歳	25.6	23.7	34.6	27.1
85～89歳	23.3	34.2	26.9	28.0
90歳以上	25.6	28.9	23.1	26.1
n	43	38	26	107

表6-2-3. 要介護高齢者の入院・入所前の住居 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
持ち家(一戸建て)	83.7	81.6	80.8	82.2
持ち家(分譲マンションなど)	4.7	2.6	3.8	3.7
公営住宅	2.3	2.6	7.7	3.7
公社・公団(賃貸)	2.3	5.3	7.7	4.7
民間借家(一戸建て、長屋建て)	2.3	5.3	0.0	2.8
民間借家(賃貸マンション・アパート)	4.7	2.6	0.0	2.8
n	43	38	26	107

表 6-2-4. 入院・入所者の世帯年収 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
120万円未満	14.0	21.1	26.9	19.6
120～300万円未満	34.9	36.8	38.5	36.4
300～500万円未満	16.3	10.5	7.7	12.1
500～1,000万円未満	7.0	5.3	7.7	6.5
1,000万円以上	4.6	2.6	3.8	3.8
わからない	16.3	23.7	7.7	16.8
答えたくない	7.0	0.0	7.7	4.7
n	43	38	26	107

3) 入院・入所の経過と今後の療養希望場所

現在、入院・入所している施設に限らず、在宅から施設での療養に移行した時期をたずねたところ、いずれの施設においても「平成10年～14年」という人の割合が多いものの、その割合は療養型医療施設で最も低く（63.2%）、療養型医療施設は長期入院者が多いことがわかる（表 6-3-1）。

現在の施設に入院・入所する前に療養していた場所が「自宅（親戚の家も含む）」という人の割合は、一般病院で76.7%、療養型医療施設で63.2%、老人保健施設では50.0%であった（表 6-3-2）。療養型医療施設は他病院からの転院患者が多く、老人保健施設も半数は病院や他の老人保健施設から転院・転所してきた人であった。

表 6-3-1. 入院・入所した年(現在の施設以外も含む) (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
昭和	2.3	7.9	7.7	5.6
平成元年～4年	4.7	13.2	3.8	7.5
平成5年～9年	14.0	15.8	7.7	13.1
平成10年～14年	76.7	63.2	80.7	72.9
無回答	2.3	0.0	0.0	0.9
n	43	38	26	107

表 6-3-2. 入院・入所前に療養していた場所 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
自宅または親戚の家	76.7	63.2	50.0	65.4
養護、経費、有料老人ホーム	2.3	0.0	0.0	0.9
△	18.6	31.6	26.9	25.2
病院	0.0	5.3	23.1	7.5
老人保健施設	2.3	0.0	0.0	0.9
特別養護老人ホーム				
N	43	38	26	107

入院・入所前の在宅サービス利用状況をみると、老人保健施設の入所者は在宅サービスを利用していた人が多いが、一般病院や療養型医療施設にいる人は、在宅サービスの利用が少なかった（表 6-3-3）。

入院・入所前に在宅で介護していた期間が「5年以上」という人は、一般病院では 16.3%、療養型医療施設では 15.8%、老人保健施設では 34.6%と、老人保健施設の入所者の介護期間が長かった（表 6-3-4）。

今後の療養場所をどのように考えているか家族にたずねたところ、一般病院と療養型医療施設では「病院」を希望する人が多く（51.2%と 57.9%）、老人保健施設では「老人保健施設（46.2%）」と「特別養護老人ホーム（38.5%）」を希望する人が多かった。「自宅や親戚宅」と答えた人は、一般病院で 18.6%、療養型医療施設で 5.3%、老人保健施設で 7.7%と少数であった（表 6-3-5）。

表 6-3-3. 入院・入所以前の在宅サービス利用状況 (%) (複数回答)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
ショートステイ	14.0	15.8	65.4	27.1
ホームヘルパー	11.6	15.8	34.6	18.7
入浴サービス(巡回・通所)	7.0	7.9	11.5	8.4
通所サービス	16.3	18.4	46.2	24.3
訪問看護	9.3	15.8	30.8	16.8
n	43	38	26	107

表 6-3-4. 入院・入所前の在宅での介護期間 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
6ヶ月未満	23.3	13.3	15.4	17.8
6ヶ月以上1年未満	11.6	15.8	3.8	11.2
1年以上3年未満	23.3	39.5	26.9	29.9
3年以上5年未満	4.7	0.0	7.7	3.7
5年以上	16.3	15.8	34.6	20.6
歩行・着替え・入浴・排泄・痴呆 などの世話はしていない	20.9	15.8	11.5	16.8
n	43	38	26	107

表 6-3-5. 家族が希望する高齢者の今後の療養場所 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
市内の自宅あるいは親戚 宅	18.6	5.3	7.7	11.2
病院	51.2	57.9	0.0	41.1
老人保健施設	2.3	5.3	46.2	14.0
特別養護老人ホーム	9.3	15.8	38.5	18.7
その他	7.0	15.8	3.8	9.3
無回答	11.6	0.0	3.8	5.6
n	43	38	26	107

4) 入院・入所者の健康状態

ADL障害が「中～重度」の人が多くみられたのは、一般病院で、次いで療養型医療施設、老人保健施設の順であった。認知機能障害が「中～重度」の人が多かったのは、老人保健施設で、次いで療養型医療施設、一般病院という順であった(表 6-4-1、6-4-2)。

医療処置は、一般病院で受けている人が多く、「経管栄養(30.2%)」「膀胱カテーテル(16.3%)」「吸引(14.0%)」といった処置が多かった(表 6-4-3)。

表 6-4-1. 入院・入所者のADL障害 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
ADL障害なし	0.0	0.0	0.0	0.0
軽度	2.3	5.3	11.5	5.6
中度	11.6	10.5	26.9	15.0
重度	86.0	84.2	61.5	79.4
n	43	38	26	107

表 6-4-2. 入院・入所者の認知機能障害 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
認知障害なし	34.9	21.1	19.2	26.2
軽度痴呆	11.6	10.5	7.7	10.3
中等度痴呆	32.6	39.5	50.0	39.3
重度痴呆	20.9	28.9	23.1	24.3
n	43	38	26	107

表 6-4-3. 入院・入所者の医療処置 (%) (複数回答)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
経管栄養をしている	30.2	23.7	3.8	21.5
気管切開をしている	4.7	2.6	0.0	2.8
吸引器を使っている	14.0	10.5	0.0	9.3
膀胱カテーテルを留置	16.3	7.9	3.8	10.3
酸素療法を行っている	7.0	5.3	3.8	5.6
人工呼吸器をつけている	4.7	0.0	0.0	1.9
人工透析をしている	9.3	0.0	0.0	3.7
人工肛門をつけている	2.3	0.0	0.0	0.9
中心静脈栄養(IVH)をしている	9.3	5.3	0.0	5.6
どれもしていない	44.2	63.2	88.5	61.7
n	43	38	26	107

5) 介護保険制度の利用

一般病院に入院中の人で要介護認定に申請していない人は 20.9%であった。療養型医療施設にいる人であっても、申請したと答えた家族は 76.3%であり、家族の認識が十分でないことがわかる(表 6-5-1)。

未申請者にその理由をたずねたが、「その他」という回答が最も多かった(62.5%)。しかし、その具体的な記述をみると「療養型医療施設に入りたい」「在宅は無理」という回答があり、介護保険は在宅で介護をする人のものと誤解しているため、未申請になっていることがわかった(表 6-5-2)。

申請者に認定結果に対する満足度をたずねたが、「あまり満足していない」または「全然満足していない」と答えた人はいずれの施設においても 2 割未満であった。療養型医療施設では「わからない」と答えた人が多かった(31.0%)。(表 6-5-3)。

表 6-5-1. 入院・入所者の要介護認定申請状況 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
申請した	69.8	76.3	100.0	79.4
申請していない	20.9	18.4	0.0	15.0
わからない	9.3	5.3	0.0	5.6
n	43	38	26	107

表 6-5-2. 入院・入所者の未申請理由 (複数回答) (n = 16)

	%
手続きがわからない・制度を知らない	12.5
相談窓口まで行くことができない	6.3
介護保険サービスは自己負担があるので使いたくない	6.3
認定を受けることに抵抗がある	0.0
必要を感じない	31.3
その他	62.5
(具体的な記述内容) 療養型医療施設に入りたい	
リハビリのある病院に入りたい	
とにかく在宅は無理	
わからない。先が見えない。	

注) 認定未申請者に限定。

表 6-5-3. 入院・入所者の認定結果に対する満足度 (%)

	一般病院	療養型医療施設	老人保健施設	合計
非常に満足している	16.7	27.6	19.2	21.2
わりと満足している	43.3	24.1	57.7	41.2
あまり満足していな	6.7	10.3	7.7	8.2
い	6.7	6.9	11.5	8.2
全然満足していない	16.7	31.0	3.8	17.6
わからない	10.0	0.0	0.0	3.5
無回答				
N	30	29	26	85

注) 認定申請者に限定

6) 施設に対する家族の評価

療養型医療施設や老人保健施設に入院・入所する際の手続きについて評価してもらった。

「希望する時期に入れた」を除くと、老人保健施設よりも療養型医療施設の方が評価は低く、事前の説明が十分でない可能性が示唆された (表 6-6-1)。

表 6-6-1. 療養型医療施設や老人保健施設への入院・入所手続きに関する評価

	療養型医療施設	老人保健施設	合計
希望する時期に施設に入れた	65.8	50.0	59.4
希望する施設に入れた	68.4	92.3	78.1
世話の内容を事前に知らされた	57.9	92.3	71.9
サービスを利用する際に、契約書の内容 に関して説明を受けた	42.1	80.8	57.8
サービス利用料について事前に知らされた	50.0	76.9	60.9
N	38	26	64

施設の処遇についても、全体的な評価は療養型医療施設の方が老人保健施設より低く、「非常に満足」と「やや満足」を合計した割合は、療養型医療施設で 81.6%、老人保健施設で 92.3%であった(表 6-6-2、6-6-3)。個別項目をみると、療養型医療施設で満足している人の割合が 70%を越えていた項目は、「安全性の確保 (84.5%)」「清潔さ (87.2%)」「日当たりや騒音 (81.5%)」「職員の対応 (84.2%)」であった。満足している割合が最も低かったのは「費用負担 (44.8%)」で、次いで「施設での機能訓練や余暇活動 (50.0%)」であった(表 6-6-2)。

表 6-6-2. 療養型医療施設の処遇に対する家族の満足度 (%) (複数回答) (n=38)

	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	わからない	無回答
施設の食事	18.4	47.7	5.3	0.0	23.7	5.3
入浴の回数ややり方	26.3	42.1	15.8	0.0	10.5	5.3
施設での機能訓練や余暇活動	18.4	31.6	18.4	0.0	26.3	5.3
プライバシー保護	28.9	39.5	7.9	2.6	15.8	5.3
安全性の確保	47.7	36.8	2.6	0.0	7.9	5.3
清潔さ	47.7	39.5	2.6	0.0	5.3	5.3
日当たりや騒音	44.7	36.8	5.3	2.6	5.3	5.3
費用負担	13.2	31.6	28.9	7.9	13.2	5.3
職員の対応	42.1	42.1	5.3	0.0	5.3	5.3
施設との距離	21.1	34.2	15.8	18.4	5.3	5.3
全体的	31.6	50.0	7.9	0.0	5.3	5.3

老人保健施設の個別項目については、満足度(「非常に満足」と「やや満足」の合計)が 70%を越えていたのは、「入浴の回数ややり方 (80.7%)」「プライバシー保護 (73.0%)」「安全性の確保 (84.6%)」「清潔さ (96.2%)」「日当たりや騒音 (92.3%)」「費用負担 (88.5%)」

「職員の対応 (88.5%)」「施設との距離 (84.6%)」と、多くの項目で満足度が高かった。最も満足度が低かったのは、「施設での機能訓練や余暇活動 (61.5%)」であった(表 6-6-3)。

表 6-6-3. 老人保健施設の処遇に対する家族の満足度 (%) (複数回答) (n=26)

	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	わからない	無回答
施設の食事	26.9	38.5	19.2	0.0	15.4	0.0
入浴の回数ややり方	26.9	53.8	0.0	3.8	15.4	0.0
施設での機能訓練や余暇活動	11.5	50.0	7.7	7.7	23.1	0.0
プライバシー保護	19.2	53.8	7.7	3.8	15.4	0.0
安全性の確保	30.8	53.8	7.7	3.8	3.8	0.0
清潔さ	23.1	73.1	0.0	0.0	3.8	0.0
日当たりや騒音	34.6	57.7	3.8	0.0	3.8	0.0
費用負担	15.4	73.1	11.5	0.0	0.0	0.0
職員の対応	38.5	50.0	11.5	0.0	0.0	0.0
施設との距離	30.8	53.8	15.4	0.0	0.0	0.0
全体的	23.1	69.2	7.7	0.0	0.0	0.0

7) 施設に対する不満や要望の処理

施設に不満や要望があった場合、誰に伝えるかについては、「そもそも不満がなかった」との回答が療養型医療施設で 39.5%、老人保健施設で 42.3%と最も多かったものの、不満があっても「誰にも言わなかった」という回答も、療養型医療施設で 39.5%、老人保健施設で 34.6%と少なくなかった。訴える先として最も多かったのが「直接施設にいう」であり、その割合は療養型医療施設で 10.5%、老人保健施設で 19.2%であった(表 6-7-1)。

表 6-7-1. 施設に対する不満や要望の処理 (%) (複数回答)

	療養型医療施設	老人保健施設	合計
直接、施設職員に言う	10.5	19.2	14.1
役所(福祉関係の部署)に言う	5.3	0.0	3.1
民生委員に言う	0.0	0.0	0.0
在宅介護支援センターの職員に言う	0.0	0.0	0.0
自分のケアマネジャーに言う	0.0	7.7	3.1
誰にも言わなかった	39.5	34.6	37.5
不満がなかった	39.5	42.3	40.6
その他	5.3	0.0	3.1
n	38	26	64

施設への不満や要望の受け皿として、施設オンブズマン制度がある。このような制度に対する利用希望をたずねた。利用希望のある人（「現在苦情や不満があり、すぐにでも利用したい」「今は苦情や不満はないが、不満が出てきたら利用したい」と回答）は、療養型医療施設で52.6%、老人保健施設で73.1%と過半数を占めていた（表6-7-2）。

表 6-7-2. 施設オンブズマン制度の利用希望 (%)

	療養型医療施設	老人保健施設	合計
現在苦情や不満があり、すぐにでも利用したい	10.5	7.7	8.5
苦情や不満はあるが、このような制度は必要ない	0.0	11.5	4.2
今は苦情や不満はないが、出てきたら利用したい	42.1	65.4	50.7
たとえ苦情や不満があっても、このような制度を利用するつもりはない	21.1	0.0	12.7
わからない	23.7	15.4	21.1
無回答	2.6	0.0	2.8
N	38	26	64